



# リフレクス ブラスター LEDコンバージョンキット 取扱い説明書〈12V車用〉

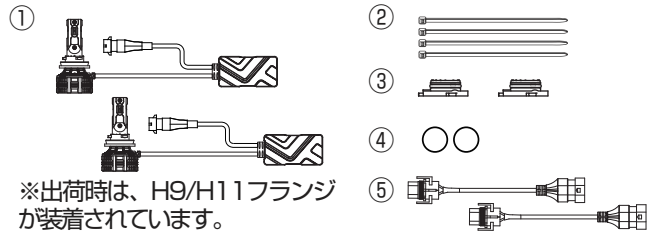
この度は、CATZ製品をお買上げ頂きまして誠にありがとうございます。  
正しく、安全にお使いいただくために、ご使用前に本「取扱い説明書」をよくお読みください。  
また、本製品をご使用頂く間、この取扱い説明書を紛失しないよう大切に保管してください。

## 製品仕様

本書対応バルブ H9/H11  
HB3/HB4/HIR2  
使用電圧範囲 DC11V~16V  
消費電力 12V/60W

## 部品構成

- ①LEDバルブ 2個
- ②タイラップ 4個
- ③HB変換フランジ 2個
- ④HB3用Oリング 2個
- ⑤HB3/HB4/HIR2用電源変換ハーネス 2個



## ⚠ 取付作業を行う前に ※ご使用になる前に必ずお読みください。

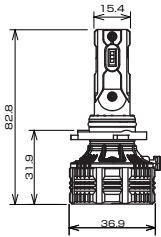
- 本製品の発光色は、車検対応の白色の範囲以内に位置しておりますが、車検場によっては、車検検査官の目視により判断を行っており、灯具によっては車検に通らない場合があります。その場合は、ノーマルバルブに戻してください。
- LEDバルブの取付作業を行う前に、ノギスなどの測定器具を使い、バルブ取付面を基準とし、灯具内後方クリアランスの確認を行ってください。下記の寸法に満たない場合は、取付けを中止してください。

ヘッドライトからLEDバルブ脱着に必要な寸法は、ハロゲンバルブ後方から77mm以上必要です。

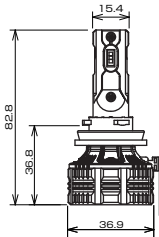
※装着推奨値 バルブ中心から直径 45mm以上

- ・H9/H11 バルブ取付け面から灯具内 48mm以上 バルブ取付け面から後方 52mm以上
- ・HB3/HB4/HIR2 バルブ取付け面から灯具内 53mm以上 バルブ取付け面から後方 47mm以上

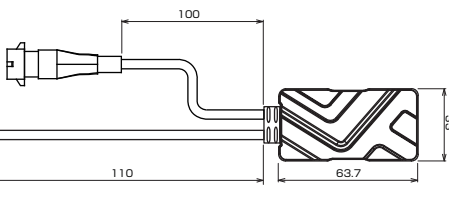
○HB3/HB4/HIR2寸法



○H9/H11寸法



○ドライバー寸法



## ⚠ 安全に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

- LEDバルブを直接触ったり、油膜等の汚れを付着させないでください。汚れを付着させたまま使用しますと、バルブの損傷や灯具への損傷を与える恐れがありますので、万一は、汚れが付着した場合、アルコール系の洗浄液で脱脂綿等にしみこませ、油分や汚れをふきとってください。
- 点灯中や点灯直後はランプやバルブ、ドライバーが熱いので手や肌など触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。作業は、ランプスイッチをOFFにし、ランプが冷えてから行ってください。
- 点灯中の光を間近で長時間見つめないでください。目が痛くなったり、視力障害の原因となります。
- 火災の原因となりますので、紙や布などでランプ本体をおおったり、燃えやすいものや引火する危険性の雰囲気（ガソリン可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉じんなど）で使用しないでください。
- 分解、改造は行わないでください。火災、ケガ、故障の原因となります。
- 走行中に異常な振動や音等を感じたら、直ちに安全な場所へ停車し、よく点検を行ってください。
- 幼児の手に届く場所には、おかないでください。飲み込んだり、ケガの原因となる事があります。

## ⚠ 使用に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

- 本製品は、12ボルト(V)車両の純正ヘッドランプ専用バルブです。12ボルト(V)自動車以外の用途には使用しないでください。
- 本製品は耐水、耐塵設計になっておりますが、水や泥、粉塵等が直接触れないようにしてください。整備、清掃等で、ウォッシャーやオイル、ケミカル類がかからないように注意してください。
- 車両に下記の装備が装着されている車両は、純正バルブの装着を前提に設計されている為、本製品を装着すると正常に作動しなくなる恐れがあります。本製品を使用したことによる車両装置の誤作動や動作不良、それらにより発生した事故や損害については一切の責任を負いかねますので予めご了承願います。  
・衝突被害軽減ブレーキ ・クルーズコントロール ・車線逸脱防止支援システム ・誤発進抑制制御機能 ・クリアランスソナー  
・駐車支援システム ・AFS ・その他、カメラ、ミリ波レーダー、赤外線レーザー、超音波を使用した装置
- 本製品の光源はLEDを使用しております。ハロゲンバルブの様に光源のみを交換することはできません。
- 点灯すると冷却ファンの音やオーディオ・ラジオ等にノイズが入る場合がありますが、故障ではありません。
- LEDバルブに変えることにより、ケルビンが同じH.I.D.やハロゲンと色味が違う場合があります。また、取り付けるヘッドライトにより明るさ、発光色が異なって見える場合があります。
- 一部の車両で、球切れ警告灯が点灯したり、CANシステムの影響によりヘッドライトスイッチがOFF時にも車両側が微電流を流し、LEDバルブがかすかに点灯する場合があります。この様な場合は、ご使用をお止めください。
- エンジンが停止している時は、バッテリー保護の為、長時間の点灯をさけてください。
- コードのグロメット根元で急激に曲げないでください。防水性が低下し水、ホコリが浸入する恐れや断線する事があります。
- アイドルストップ車両などに取付けた場合は、エンジン始動時、一瞬消えたり、チラつく事があります。
- バルブを交換する時は、定格、口金形状を事前に確認し、確実に装着してください。
- 本製品はハロゲンバルブに比べ発熱量が少ない為、ヘッドライトに付着した雪や氷が解けにくい場合があります。予めご了承ください。

**⚠ 取扱（取付）に関するご注意** ※ご使用になる前に必ずお読みください。

- 作業は平らな場所で、車両が動きださないように安全を確保してから行ってください。
- エンジンルームが十分に冷えてから取付作業を行ってください。ヤケドの原因となります。
- LEDバルブのパッキンが固い為、ランプに装着する際、元のバルブより装着しにくい場合があります。
- コネクターを外す際は、コードを引っ張らず、コネクター本体を持って外してください。
- エンジン、ランプスイッチをOFFにし、エンジンルームが十分に冷えてから、バッテリーのマイナス端子を外すか、車両取扱説明書でヒューズの位置を確認しヒューズボックスからヘッドライトのヒューズを外して作業を行ってください。ショートによる故障の原因になることがあります。
- 本製品を取付けの際には、本取扱説明書、及び車両メーカー作成の作業マニュアル、電気配線図に従い、注意して作業を行なってください。
- ランプ本体が確実に固定されているか確認を行なってください。取付けが不完全な場合、バルブの落下の原因となります。
- 作業終了後には、必ず、光軸の確認及び調整を行ってください。

**取付手順**

**LEDバルブの取付け手順**

注意 取付作業を行う際、保護メガネ、手袋をして作業を行ってください。

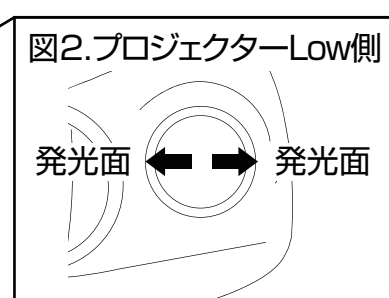
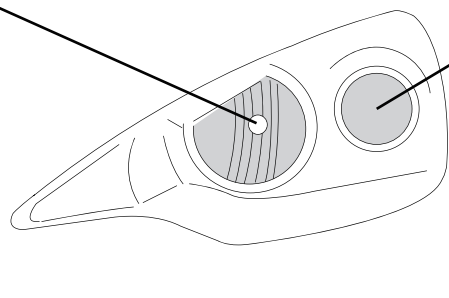
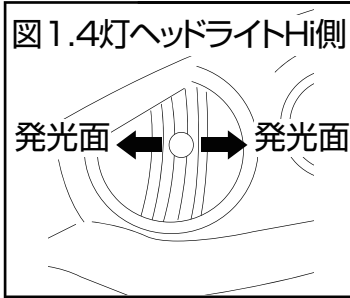
1. 車両の取扱い説明書を参考にしヘッドライトからバルブを外してください。  
※、LEDバルブ脱着には、ハロゲンバルブ後方から77mm以上のスペースが必要です。スペースが確保できない場合、ヘッドライトを取り外し、作業を行ってください。
2. 1.で取外した時と逆の手順でLEDバルブをヘッドライトに取付けてください。  
※装着時、LEDに直接触れたり、灯具に接触させないように注意して作業を行ってください。  
LEDバルブを各形状に合わせ挿入取付けしてください。※車両メーカーマニュアルを参照してください。

**○プロジェクターヘッドライトLow側、4灯式ヘッドライトHi側に装着する場合**

プロジェクターヘッドライトLow側、ヘッドライトHi側に装着の場合、LEDバルブが図1、図2の様にバルブをヘッドライトに装着した際、センターに配置されるよう装着してください。

センターに配置されていない場合、バルブフランジ部を回転させ位置決めを行いヘッドライトに装着してバルブから出ている電源線が下側になる様に固定いただければLEDバルブがセンターの位置となる目安として調整を行ってください。

各バルブ形状により、センター位置は異なりますので、ご注意ください。※調整方法は図4を参照してください。



**○マルチリフレクターヘッドライトLow側に装着する場合**

マルチリフレクターヘッドライトLow側に装着する場合、LEDバルブが図3の様にバルブをリフレクターのカットに合わせるようにバルブフランジ部を回転させ、約15度傾く様に装着してください。※調整方法は図4を参照してください。

各バルブ形状により、センター位置は異なりますので、ご注意ください。

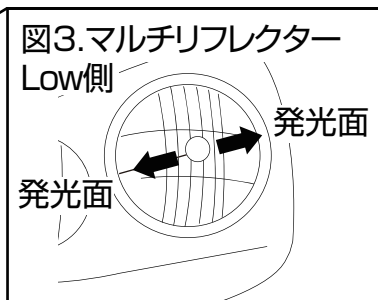
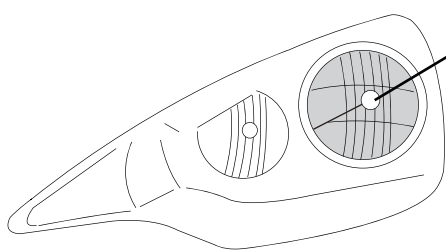
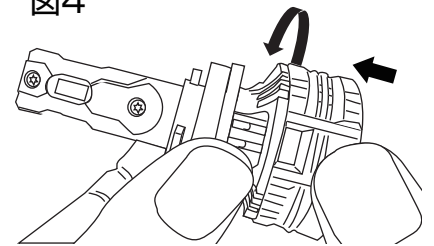
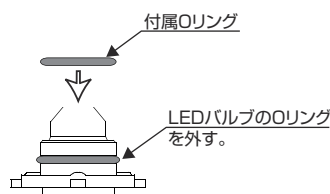
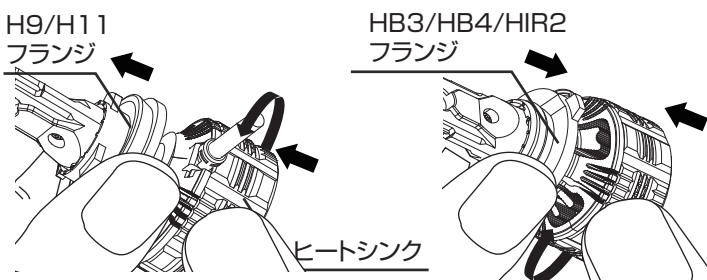


図4



**※注意**  
バルブ角度調整の際、何度も回転させると節度が無くなり、一定の位置で固定が出来なくなります。

**フランジをHB3/HB4/HIR2に変更する方法**



右の図を参考に、フランジを押しヒートシンクを押し込み回転するとフランジが外れます。

付属品のHB3/HB4/HIR2フランジに交換しフランジを押しヒートシンクを押し込み回転させフランジを取付けてください。HB3バルブの車両に装着の場合、フランジのOリングを外し付属のOリングに交換してください。

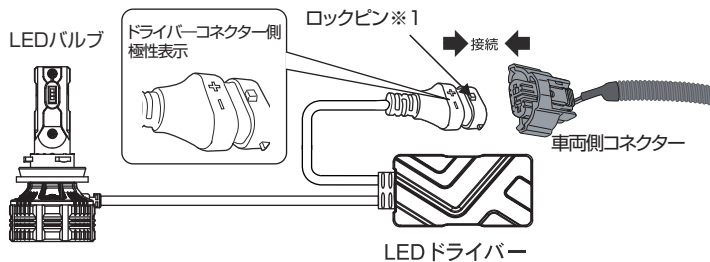
## 取付手順

## 配線の接続

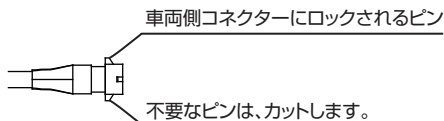
- 1.本製品は極性がありますので、テスターを使い車両側コネクターのプラス、マイナスを必ず確認してください。ドライバー側の極性はコネクターに+/-と表示されています。

### ○H9/H11 接続方法

車両側コネクターの極性を確認し、ドライバー側のコネクターの接続方向を確認し不要なロックピンをカットしてから車両コネクターと接続してください。不要なロックピンが残っていると車両コネクターに正常に接続できません。

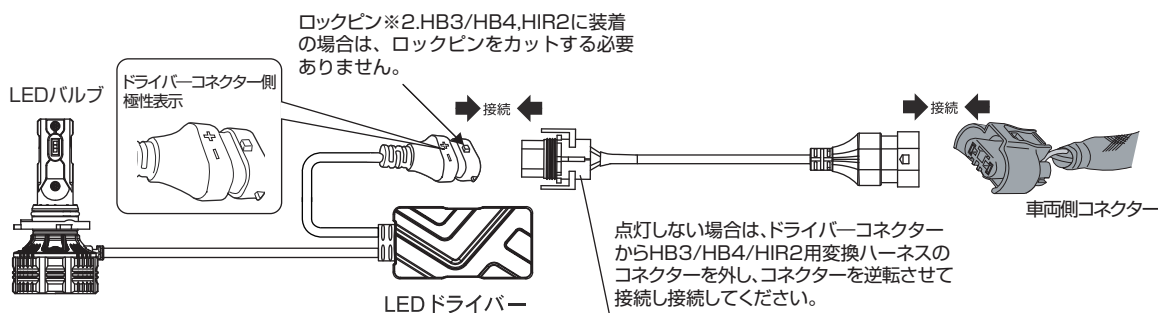


※1 コネクターロックピンの加工  
LEDバルブ入力側コネクターには、ロックピンが2個あります。車両側コネクターの極性を確認していただき、コネクターの接続方向が決まりましたら、車両側コネクターに接続した際ロックされる側のピンを残し、不要なロックピンをカットしてください。



### ○HB3/HB4/HIR2 接続方法

車両側コネクターの極性を確認し、付属のHB3/HB4/HIR2用電源変換ハーネスを車両側コネクターに接続。ドライバー側コネクターの極性に合せ、HB3/HB4/HIR2用変換ハーネスを接続してください。



## 取付手順

## 点灯確認及び部品戻し

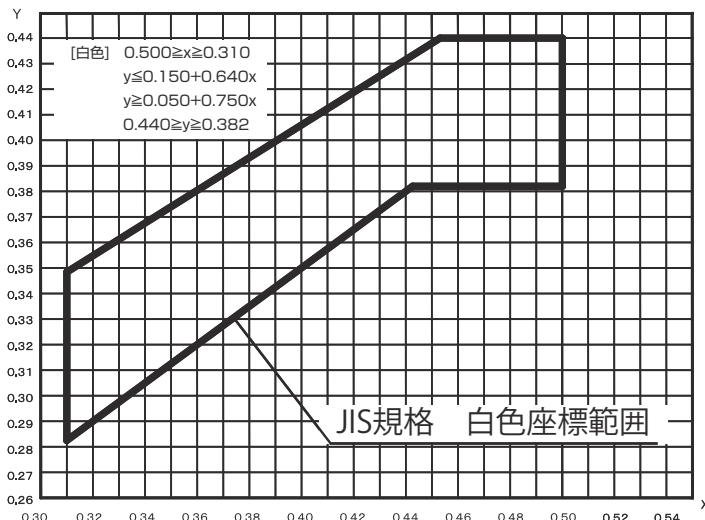
- 1.エンジンを始動し、ヘッドライトスイッチをONにしてLEDバルブが正常に点灯すれば正常です。
- 2.正常な状態であれば、バルブの取付状態とカプラー接続状態の確認後、取外した部品をもとに戻して作業終了となります。  
※作業終了後は、必ず、光軸調整を行ってください。

### ○ヘッドライトテスター測定時の注意事項

ヘッドライトテスターのオートモードでの検査をした場合、ヘッドライトテスターの仕様や設定により不適合となる場合があります。弊社としては手動(目視検査モード)にして測定を行なう事を推奨します。

## 車検対応の色度について

- この度は、本製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
- 下記グラフは、日本工業規格 (JIS規格) D5500の白色範囲をグラフ化したものです。色度測定を行い、太線の枠内に入る場合は、白色として認められます。
- この書類は、本製品をご使用いただく間、必ずお手元に保管してください。



■本製品の発光色は、車検対応の白色の範囲以内に位置しておりますが、車検場によっては、車検検査官の目視により判断を行っており、灯具によっては車検に通らない場合があります。その場合は、ノーマルバルブに戻してください。